科目分類	看護専門科目　領域別看護			開講時期	4 年	前期
科目名	老年看護学実習Ⅱ					
選択/必修	必修	単位数（時間数）	2 単位	90 時間	授業形態	実習
担当教員	北村　隆子　・　森本恵り子　・　髙城　絵美					
メールアドレス	t-kitamura@tsuruga.nu.ac.jp(北村)			オフィスアワー	実習の前後	

授業目的	これまでに学んだ知識および技術を統合し、健康障害を伴う高齢者の心身の機能回復や日常生活の自立等に向けての看護を展開する。
授業概要	老年看護学実習Ⅱでは、老年看護学実習Ⅰで学んだ高齢者の特徴を踏まえた上で、健康障害を伴う高齢者が生活機能を回復し、あるいは生活不活発病を起こすことなく在宅生活に復帰できる看護のあり方を学習する。
授業計画	１．実習施設の組織概要、および組織の目標等を理解できる。 ２．実習施設に入院する高齢者を受け持ち、高齢者の特徴を踏まえた上で、健康障害の病態を理解する。 ３．入院およびその環境が高齢者に与える影響について理解し、高齢者が生活不活発病を起こすことなく、早期に機能回復できる援助のあり方考えることができる。 ４．高齢者のあらゆる側面を統合しながら、QOL を踏まえた日常生活援助を実践することができる。 ５．高齢者の退院後の生活を支援する社会サービスシステムについて理解し、多職種と看護の連携について考えることができる。 ６．日々のカンファレンスおよび最終日の全体討議を通して、実習で得た事実をもとに高齢者への看護のあり方についての学びを深める。 ※詳しい内容は実習要項を参照する。
教材 参考文献等	参考書：老年看護学概論、老年症候群援助論、老年看護学で使用した教科書および配付資料 その他別途紹介する。
成績評価 基準・方法	実習目標の達成度および出席状況、記録物の提出状況等を総合的に評価する。
履修要件	老年看護学実習Ⅰを履修していること。

留意事項 その他	老年看護学概論、老年症候群援助論、老年看護学、形態機能学、臨床病態学など既修科目の復習をして実習に臨むこと。
実務経験のある 教員の教育方法	看護師としての高齢入院患者が多くを占めている病院での臨床経験を活かして、高齢者の健康障害と生活機能の回復のための看護のあり方について実習指導を行う。